製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

1, 化学物質等及び会社情報

製品名　(特級)　4,4'-オキシジアニリン　4,4'-Oxydianiline
整理番号　22082
作成日　2000 年 10 月 11 日
改訂日　2011 年 3 月 16 日

会社名　純正化学株式会社
本社住所　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町 4-4-16
●連絡先及び緊急連絡先 (MSDS 作成担当)
担当部門　営業本部　学術担当
担当住所　〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1－6
電話番号　048-988-3621　FAX 番号 048-988-6689
E-mail: shiyaku-t@junsei.co.jp
http://www.junsei.co.jp

用途と使用上の注意: 本製品は試薬ですので、試験研究用以外には使用しないで下さい。

2, 危険有害性の要約

【GHS 分類】 NITE 分類(ID=753)

健康に対する有害性

急性毒性 経口	:区分4
皮膚腐食性／刺激性	:区分外
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	:区分外
皮膚感作性	:区分1
発がん性	:区分2
特定標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	:区分2　(血液、中枢神経)

(注) 危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

【GHS ラベル要素】

【GHS 絵表示】

【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

飲み込むと有害
アレルギー皮膚反応を起こすおそれ

【注意書】

【安全対策】

・使用前に取扱説明書を入手すること。
・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
・保護手袋を着用すること。
・適切な保護具を使用すること。
・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
・取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。

・皮膚に付着した場合:汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
・皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
・ばく露又はその懸念がある場合:医師の手当、診断を受けること。

【保管】

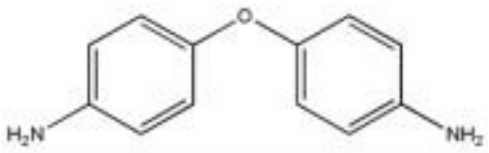
・施錠して保管すること。

【廃棄】

・中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別:単一製品
化学名: 4,4'-オキシジアニリン
別　名: 4,4'-ジアミノジフェニルエーテル　　4,4'-Diaminodiphenyl ether
化学式: $C_{12}H_{12}N_2O$
CAS No: 101-80-4
EINECS No: 202-977-0
含有量: 99 %
化審法: 3-854
安衛法: 公表
構造式



4, 応急措置

○ 吸入した場合:新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。
○ 皮膚に付着した場合:汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。
○ 眼に入った場合:先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。
○ 飲み込んだ場合:意識あるなら、口をすすぐ。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。
○ 予想される急性症状及び遅発性症状 :頭痛、精神変調、錯乱、発作、失神、低酸素症。
経口摂取により吐き気、嘔吐。
吸入により、呼吸困難、精神敏活。
皮膚に触れた場合、中枢神経麻痺。
○ 最も重要な徴候及び症状 : データ無し

○ 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : データ無し
○ 医師に対する特別な注意事項 : データ無し

5, 火災時の措置

消火剤 : 二酸化炭素、粉末消火剤、砂、土、一般の泡消火剤
使ってはならない消化剤 : データなし
消火方法 : 周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。
特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護のために着用する保護具 : 防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項
暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。
保護具及び緊急時措置
「8. 暴露防止及び保護措置」における保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項
上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
回収、中和
漏出物を蓋付の容器に掃き集め、空容器に回収する。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い
－粉じん、ヒュームが、皮膚に触れたり、吸入しないこと。保護具を着用する。
－局所排気、全体換気を行い作業場を換気する。
－作業中は飲食、喫煙をしない。
－強酸化剤との接触に注意する。
保管
－火気厳禁。
－密栓して換気のよい冷暗所に保管する。
－強酸化剤から離しておく。

8, 暴露防止及び保護措置

通気:換気装置を用いて、粉じん、ヒュームを低く保つ。
管理濃度(労働安全衛生法): 設定されていない。
許容濃度
日本産業衛生学会(2009 年度):設定されていない
ACGIH(2009 年):設定されていない
設備対策
局所排気装置
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具
－換気が十分でない場合には、送気マスク、空気呼吸器等を着用すること。
－不浸透性保護手袋及び保護衣を着用すること。
－眼、顔面用の保護具を着用すること。

9, 物理的及び化学的性質
外観: 白色結晶または塊
臭い: データなし
融点: 190～192℃
沸点: > 300℃
引火点: 218℃
爆発範囲の上限･下限 : データなし
蒸気圧: 0.0000409 Pa(25 ℃)
蒸気密度:データなし
比重:データなし
溶解度:水に不溶
n-オクタノール／水分配係数:1.36
自然発火温度: 490℃
分解温度:データなし

10, 安定性及び反応性
反応性と安定性:常温常圧で安定、加熱により発火する。
避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など):加熱
混触不可物質:強い酸化剤
危険な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物。
危険な重合反応:しない

11, 有害性情報
急性毒性 経口
ラット LD50 725mg/kg、飲み込むと有害(区分 4)
急性毒性 経皮
データなし
急性毒性 吸入(ガス)
GHS の定義における固体
急性毒性 吸入(蒸気)
データなし
急性毒性 吸入(粉塵ミスト)
データなし
皮膚腐食性/刺激性
ラットの試験で刺激性なしとの報告がある。
眼に対する重篤な損傷性/刺激性
ウサギの試験で刺激性なしとの報告がある。
皮膚感作性
モルモットの試験で感作性ありとの報告がある。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(区分 1)

生殖細胞変異原性

in vitro 試験ではエームズ試験で陽性、染色体異常試験で陽性の記載がある。

in vivo 試験ではラット、マウスにおける不定期 DNA 合成試験で陰性の記載があるが、データ不足のため分類できない。

発がん性

IARC で 2B に、日本産業衛生学会で 2B に分類されていることより区分 2 に分類した。 発がんのおそれの疑い（区分 2）

生殖毒性

EU で Repr. Cat. 3; R62 に分類されているが、根拠となるデータがなく分類できないとした。

特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）

ラットへの摂餌投与で、区分 2 のガイダンス値内でチアノーゼ、呼吸困難、嗜眠が認められたとの記載より区分 2 に分類した。

長期又は反復ばく露による血液、中枢神経の障害のおそれ （区分 2）

吸引性呼吸器有害性　データがなく分類できない

12, 環境影響情報

－生態毒性

水性環境急性有害性

データ不足のため分類できない

水性環境慢性有害性

データ不足のため分類できない

13, 廃棄上の注意

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実におこなう。

国連番号：非該当

品名：

国連分類：　（　）

容器等級：

海洋汚染物質：非該当

緊急時応急措置指針番号：非該当

15, 適用法令

消防法：非該当

毒劇法：非該当

旧ＰＲＴＲ法：非該当（　）（平成１２年３月３０日施行）

新ＰＲＴＲ法：1-143 （4,4‘-ジアミノジフェニルエーテル）（平成２１年１０月１日施行）

労働安全衛生法：安衛法通知有害物（施行令、別表第九の番号）：208 （4, 4’－ジアミノジフェニルエーテル　）

労働安全衛生法：変異原性が認められた既存化学物質（ 法第５７条の５、労働基準局長通達 ）

16, その他の情報

参考文献
－ＳＴＮインターナショナル　RTECS ファイル　AQUIRE ファイル
－危険物船舶運送及び貯蔵規則（十四訂版）国土交通省海事局検査測度課（海文堂）
－改訂第3版　緊急時応急措置指針（日本規格協会）
－NITE　GHS 分類データ　(ID=　753)
－NITE　GHS 分類マニュアル（H18.2.10 版）
－製品安全データシートの作成指針（改訂第2版）（（社）日本化学工業協会）
－化学物質総合情報提供システム（CHRIP）（ＮＩＴＥ）　http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html
－TOXNET - Databases on toxicology, hazardous chemicals, environmental health, and toxic releases.

コメント
記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。また、記載物性値は文献値であり、規格値ではありません。
全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途, 用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。